

平成 28 年度

文京区立汐見小学校

学校経営方針

平成 28 年 4 月 1 日

校長 田口恭子

I. 基本的な考え

学校は子どものためにある施設である。子どもにとって、知的好奇心が満たされ、成長が認められ、自信や明日への期待がもてる場所となるために、教職員が授業力と学級経営力を磨き、児童理解力やコミュニケーション力等を高めることは最優先の課題である。

子どもが笑顔で登校し、学習に意欲的に取り組み、友情を育み、汗することに喜びを発見できることを目指して、以下のことを推進する。

① 向上と奉仕の精神

教員は、子どもの成長を願って各々の良さを発揮し、相互に協力し合って、信頼に応える教師集団であることを目指す。

② 創造と飛躍ある教育実践

生きて働く学力の向上を目指した学習指標を定着させる。全ての教室でユニバーサルデザインの視点に立った学級経営、学習指導に努めるとともに、「交流及び、共同学習」を含め、特別支援教育の充実を図る。変化に臆せず自ら進んで取り組み、各々が指導内容や方法を工夫・改善・創造に努める。

③ 計画性と一貫性と透明性の徹底

教育活動は、「計画性」と「一貫性」、「分かりやすさ」が大切である。学校公開、保護者会、教科等公開講座、学校運営協議会、関係者評価委員会、ホームページ、掲示板等の充実を努める。

II. 基本的な方針

(1) 厳しさと温かさのある学校をつくる

- *愛情・共感・肯定のある学校……温かさ、安心、自信、自立心
- *秩序と協力のある学校……自律と規範意識、認め合い、高め合い、助け合い
- *発想と工夫のある学校……関心、意欲、工夫・改善、思考、創造性
- *充実と活力のある学校……自主性、目的意識、行動力、満足感
- *安らぎのある学校……思いやり、安らぎ、たしなみ、社会性
- *心と科学が調和した学校……環境教育、情報教育 (ICT 活用教育)、国際理解教育、福祉教育、人権教育など

(2) 教職員に開いた学校をつくる

- *組織が十二分に機能する学校……主幹、主任等による組織的な企画、立案、対応等
- *協働のある学校……協力教授、合科的な学習、分掌のチームプレイ
- *学び合い生かし合う学校……建設的な議論ができる学校、専門性やもち味を生かした分掌、アイデアの提案、授業力・指導技術の交流

(3) 保護者や地域から信頼され親しまれる学校

- *地域教材の開発、地域の人材の招聘、地域行事への近いと参加
- *教育の目的・内容・方法の説明、学習評価・情報の共有
- *学校公開、各種たより、ホームページ、掲示板等による教育活動の広報
- *保護者会の運営の工夫、PTA・地域との協力、意見や要望等への誠実な対応

Ⅲ. 今年度の学校経営方針

(1) 地域に根ざした特色ある教育（地域で学ぶ、地域を学ぶ、地域の人から学ぶ、地域とともに学ぶ）を進める

①「地域は学校」「地域は教室」「地域は教材（学習材）」「地域は先生」という認識に基づいた教育活動を推進する。

■各教科、領域等で、地域の自然や文化、歴史、人材を学習材や学習の場とした授業改善を行う。

■有識者、大学、美術館、博物館、動物園等と連携した特別授業（教科書にはない学習、教科書からは学べない学習も大切にする）

②多くのことを、より多様に、より良く学びたいと願う子どもの思いを受け止めた特色ある教育活動を推進する。

- ・日本の伝統文化、伝統工芸等を体験する教育活動（伝統工芸、伝統芸能、茶道等）
- ・交流を重視した教育活動（保・幼・中と連携した活動）

(2) 確かな学力を定着させる

①基礎・基本の徹底を図る

- ・習熟度別指導ガイドラインに基づいた少人数指導を実施し、つまずきに応じた指導や発展的な内容の指導を推進する。
- ・ユニバーサルデザインの視点に立った学級経営、授業改善を図る。
- ・東京ベーシックドリル等を活用し、読み、漢字、計算等のスキル学習、音読、暗唱当の計画的な実践を全学年で実施する。
- ・学習習慣を確立させるために、家庭学習の推進を図る。
- ・人としての生き方の基本を学ぶ道徳教育を推進する。

②考える力を高める教育に取り組む

- ・子どもが自ら課題を見出し、主体的に解決することに満足感を感じる問題解決的な学習活動や共同的な学習の場を多くする。
- ・教員は、指導と評価を一体化させた学習指導を日々展開するために、評価規準を具体化し、子どもや保護者と共有・連携して指導に当たる。

- ・校長・副校長は主幹、主任教諭は、授業観察を率先して行い、若手教員の相談を聞き、教職員への指導・助言・支援をきめ細かく行う。
- ・教育の在り方、具体的な指導内容・方法について研修を深めるために、教員は率先して研究授業を行うとともに、OJT 及び Off-JT 研修に積極的に取り組む。

(3)今日の教育課題を取り上げた教育活動を展開する

- ①健康・体力の増進を図る体育・健康教育の充実を図る
 - ・運動朝会、業間体育等の活動を継続して実施し、体力の向上と運動の習慣化を図る。
 - ・地域のアスリートやオリンピック、パラリンピアン等と連携した取り組みを通して、子どもに体力や運動能力の向上に向けた意欲の向上を図る。
 - ・教員対象の体育研修会を実施し、体育の指導技術の向上を図る。
- ②教材の扱いを工夫してロジカルシンキングを促し、子どもが自ら意見をもち、表現し、交流し合って新しい価値を見出そうとする能力の育成を図る。
- ③特別支援学級と通常の学級の交流及び共同学習を、「文京区『交流及び共同学習ガイドライン』」に基づいて個別指導計画を作成して実施する。
- ④総合的な学習の時間を中心にして、環境教育・福祉教育・国際理解教育等の充実に努める。3年生は『地域・安全』4年生は『防災・福祉』5年生は『環境・食育』6年生は『国際理解・キャリア教育』の学習を軸にして問題解決的学習に取り組む。

(4)子どもが安全に楽しく落ちついて生活できるよう運営を充実する

- ①常にきれいでさわやかな環境づくりに心がける。(清掃、美化、掲示物、動植物)
- ②子どもが教師を信頼し、子ども同士の心の通い合いのある学級をつくるように、校長・副校長、主幹、主任教諭は、校内を巡視するとともに保護者と連携し、学級経営の指導・支援を行う。
(いじめ・不登校・体罰・行き過ぎた指導等の未然防止と早期対応)
- ③目をかけ、声をかけ、手間をかけて、子どもが安心して生活できるようにする。
(自律を促す三かけ励行)
- ④「挨拶・返事・後始末」の励行、「時間や約束ごと」を守るなど、規範意識を高める生活指導を徹底するために校長として方針を明確に出す。(見逃さない、全職員が足並みをそろえ、保護者・地域と連携して指導する)
- ⑤子どもには、「温かさ」を中心に「厳しさ」を加味した指導を行い、意欲と自覚と自律を促すよう、教師の指導態勢を一致させる。(事前指導と是々非々を明確化、指示と奨励、依頼の区別をもち、怒声で子供を威嚇しない指導)
- ⑥『汐見小学校安全管理マニュアル』『学校防災計画』に基づいた安全管理・安全指導の徹底を図る。子どもの生命、安全、健康を第一に考えた校内巡視を徹底し、問題点には迅速に対応する。(危険の予知と予防、迅速な対応)

(5)教職員がチームの一員として協力・協働する組織体であることを自覚する

- ①日々の教育実践は計画的に行う（ひらめきは大切にしながら、組織で検討）。情報を共有し、課題には、誠実、迅速、柔軟に対応する。
- ②学校運営改善のために、教師一人一人が校務分掌組織を生かした実践をするとともに、先ず、担当者が自ら工夫し改善点をもって職務の推進に努める。
- ③生活指導は、生活指導部の組織をあげて取り組み、担任を支え、課題解決への方策を組織に提案、共通理解のもと、全員で取り組むようにする。
- ④校務分掌は、指導性を発揮して責任をもって遂行するように努める。そのためには、報告・連絡・相談・記録を心がける。
- ⑤分かりやすい授業、一人一人を大切にす授業を展開できるようにするために、少数指導教員、特別支援教育担当指導員、交流及び共同学習支援員との連携と、学年ブロック等を生かした、協力・協働に努める。

(6)サービスの厳正を徹底する

- ①社会の学校や教員を見る目が大きく変化していることを認識し、教育者としてふさわしい服装、言動に努める。
- ②校長・副校長・主幹は、個人情報管理、体罰、セクハラ行為に関する指導を徹底する。
- ③管理職は、教育公務員としての信用失墜行為等の防止に努める。